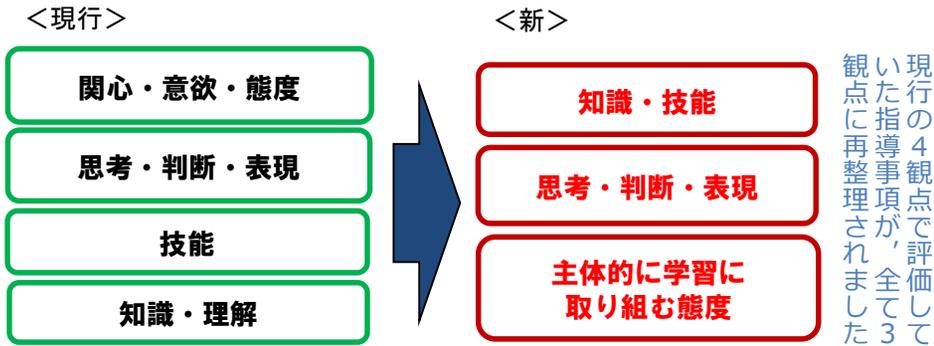


学習評価について（高等学校保健体育科）

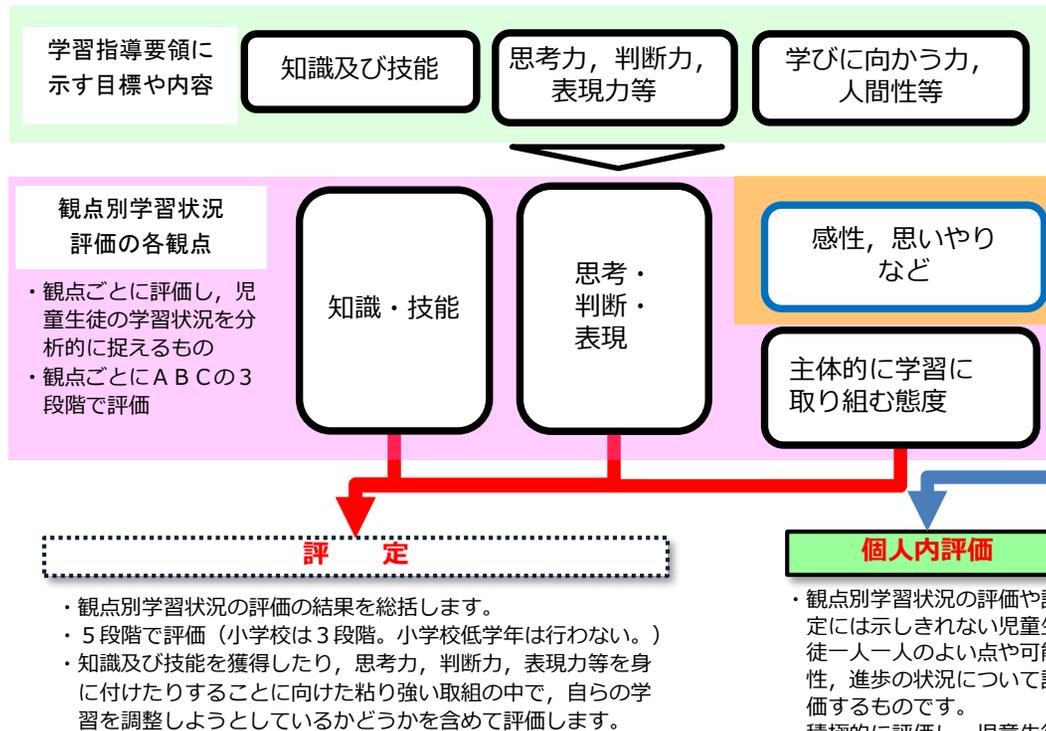
観点別学習状況の評価の観点の整理

資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されました。



学習評価の基本構造

各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況の評価するものです。（目標準拠評価）したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なります。



<参考>「児童生徒の学習評価の在り方(報告)」平成31年1月21日 文部科学省

現状の学習評価の課題

- ・学期末や学年末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、評価の結果が生徒の具体的な学習改善につながっていないなどの指摘がある。
- ・教師によって学習評価の方針が異なり、生徒が学習改善につなげにくいといった現状の課題も指摘されている。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 保健体育

～評価に戸惑う生徒の声～

「先生によって観点の重みが違います。授業態度をととても重視する先生もいるし、テストだけで判断するという先生もいます。そうすると、どう努力していけばよいのか本当に分かりにくいんです。」

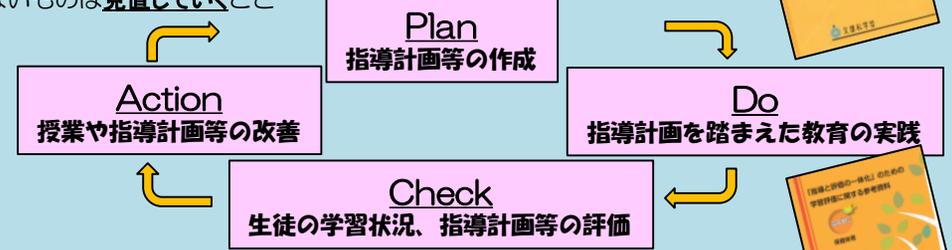
学習評価の在り方ハンドブック 高等学校編

体育の評価は、技能偏重になっていませんか？

保健の評価は、期末試験の結果が大きな割合になっていませんか？

学習評価の改善の基本的な方向性

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと



各単元における「単元の評価規準」設定の手順

- 1 内容のまとまりごとに指導内容を配置
- 2 全ての「単元の評価規準」を作成
- 3 「単元の評価規準」を選択したり、作成したりするなどして当該単元の評価規準を設定

学習指導要領解説の<例示>の文末を変換するなどして単元の評価規準を作成する方法

～科目体育～

【知識・技能】

- 知識
 - (a) 科学的な知識等を内容とするもの
「～について、言ったり書き出したりしている」
 - (b) 教師により内容に相違が予想されるもの
「～について、学習した具体例を挙げている」
- 技能
「～ができる」

【思考・判断・表現】

- 「～している」
- 【主体的に学習に取り組む態度】
 - (a) 意思や意欲を育てるという情意面
「～しようとしている」
 - (b) 「健康・安全」の観点
「～を確保している」

～科目保健～

【知識・技能】

- 知識
「～について、理解したことを言ったり書いたりしている」
- 技能
「～について、理解したことを言ったり書いたりしていると、(～)ができる」

【思考・判断・表現】

- 「～している」
- 【主体的に学習に取り組む態度】
「～しようとしている」

